

特別講演は、近畿大学病院 安全管理センター 医療安全対策部 部長・教授 辰巳陽一先生に『「なぜ、心理的安全性のないチームは多様性が嫌いなのか」』をご講演いただきました。改めて心理的安全性の意味を深く理解することができ、優れた医療チームを築くための大変勉強になる情報を賜りました。

一般演題は18題の発表があり、盛会のうちに終了することができました。

本学術集会を開催するにあたり、ご支援ご協力を賜りました関係各位の皆様へ心より感謝申し上げます、開催の報告とさせていただきます。

第14回愛媛県支部学術集会

学術集会会長：北条病院理事長・病院長 高石義浩

2024年11月9日(土)に松山市医師会館にて第14回日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会を開催しました。約80名の方にご参加いただきました。

さて、今回は「地域を支える医療マネジメントを目指して」をテーマとし、特別講演として「生命 いのち 輝かそう 日本医療マネジメント学会愛媛県支部の仲間達」～地域包括医療・ケアの時代に～(トリプル改定に対応して)と題して、邊見公雄先生(特定非営利活動法人地域医療・介護研究会JAPAN会長)にご講演いただきました。

また、一般演題では、患者支援・退院支援、チーム医療、CS向上、看護運営、救急医療、人材育成、看護教育、安全管理、安全対策、医療情報、感染対策、安全教育・研修などの各分野から23題が発表されました。各発表ともに活発な質疑応答等が行われ、盛会のうちに終わることができました。開催にあたり多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆様へ、厚く御礼申し上げます。

第23回山口県支部学術集会

学術集会会長：独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院院長 沼 文隆

2024年11月16日(土)、独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院本館11階会議室にて、第23回山口県支部学術集会を開催いたしました。

本学術集会では、「2040年に向けた病院改革～スマートホスピタルをめざして～」をテーマに掲げ、一般演題、特別講演、シンポジウムの3部構成とし、130名もの方々にご参加いただきました。

一般演題では10題の多彩な発表が行われ、特別講演として、「JCHOにおけるDXの試み」という題目でJCHO本部情報システム担当理事の佐藤秀暢先生にご講演いただきました。シンポジウムでは、「医療DXの現状と課題」をテーマに4名のシンポジストによる様々な立場からのご発表とあわせて病院改革の未来像について2040年を見据えた展望を語っていただきました。

すべてのセッションにおいて活発な意見交換が行われ、学術集会は大変実りあるものとなりました。

開催にあたり多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

第12回沖縄県支部学術集会

学術集会会長：医療法人おもと会大浜第一病院病院長 大城康一

2024年11月16日(土)に天久の杜あめくふれあいセンターにて学術集会を開催いたしました。



会場風景

特別講演では、社会医療法人祐愛会織田病院副院長 織田良正先生から「地域のニーズに応え続ける」と題しまして、佐賀県での人口動態を沖縄県の未来の姿と置きなおして、大変わかりやすく地域医療の在り方についてご講演いただきました。また、次のパネルディスカッションでは、沖縄県内の急性期病院で地域医療連携に携わる副院長4名と織田先生により在宅医療と急性期病院との連携や仕組みについて様々な意見交換がなされました。また、フロアからも積極的に質問や意見が飛び交い、意義深いセッションとなりました。さらに、一般演題も11題発表があり、一般参加も130名以上参加されて盛会のうちに閉会することができました。今回初めて企業展示ブースも設置いたしました。講演の内容とも相まってこちらも大変好評でした。

本学術集会の開催にあたり、ご支援とご協力賜りました関係各位の皆様へ厚く御礼申し上げます。

第22回茨城県支部学術集会

学術集会会長：総合病院水戸協同病院病院長 秋月浩光

2024年11月30日(土)につくば国際会議場で第22回茨城県支部学術集会を開催しました。今回は「変容し続ける医療現場をマネジメントし、明るく楽しい職場を創り出す」をテーマに、特別講演として国際医療福祉大学副学長・東京大学大学院医学系研究科先端循環器医科学特任教授の小室一成先生による「循環器病学の現在と未来」、藤沢湘南台病院病院長の熊切 寛先生による「昭和世代が悩む最近の病院内コミュニケーション」についてご講演いただきました。

また、教育講演として東京医療保健大学副学長・公益社団法人日本看護協会元会長の坂本すが先生による「変容し続ける医療現場をマネジメントし、明るく楽しい職場を創り出す～心理的安全性を再考する～」についてご講演いただきました。

一般演題として81演題の発表があり、328名の皆様に